

越前町議会・令和8年9月定例会一般質問【寺坂 大地議員】

(令和8年9月3日 午前11時39分 開始)

○3番（寺坂大地君） 議長のお許しをいただきましたので、一般質問させていただきたいと思います。

前回6月、こちらの一般質問のほうで第二次総合振興計画の進捗管理についてお尋ねをしたところ、またいろいろと気になる点が出たということで、今回、第三次総合振興計画の進捗管理について、まずはお尋ねしたいと思っております。それでは、今回、確認を中心に行いたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

まず、この第三次計画の性格についてお尋ねしたいと思います。よく窓口といいますか、いろんなところでお伺いするお話で、これはちょっと僕が勝手に聞いていたお話、解釈違いかもしれないので確認をさせていただきたいと思っています。

この計画にのっていない事業というものが国や県の補助金が、計画書にのっていないものは補助金が取れない、助成金が頂けないといったようなお話をいただくことが多いです。なので、あらゆる分野を計画書に網羅しておく必要があるというお話を聞くことがあるんですけども、本当にそうなのかというところを確認させていただけたらと思います。

この計画に書かれていない事業については、補助金などの予算の裏づけを得られないのかと、そういう理解でよろしいのかお尋ねいたします。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（高木剛彦君） 総務理事、高木です。

それでは、寺坂議員のご質問にお答えいたします。

総合振興計画は、町の施策の方向性や主要な取組を示す最上位計画ですが、国・県補助事業については、それぞれの補助制度の要件や事業内容に基づいて判断されますので、必ずしも計画に記載がないと補助を受けられないというものではありません。そのため、計画に記載がない事業であっても必要性や緊急性があり、補助制度の要件に適合するものであれば、国・県補助事業に取り組みます。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 寺坂大地君。

○3番（寺坂大地君） ありがとうございます。まさに今ほど小松議員がおっしゃられていたような、例えば水道管、こちらのほうが今、喫緊の課題で今まさにもう漏水があるんだと、財源を何とかしないとイケないんだという際には、これが使えるということですかね。まさに、本当にこの計画にないことでも本町が抱える課題、たくさんありますので、ぜひぜひ今後もいろんな働きかけを国や県に行っていたきたいと思います。

2つ目、こちらの第三次計画ではなく、第二次計画、前回の計画のほうに戻るんですけども、最終年度である令和7年度末の集計結果というのもこの前お尋ねしましたら、ただいま集計中でまだちょっと中途半端なものしかお見せできないことを言われまして、そのときは、じゃ、集計が終わってからお見せいただけるとありがたいですとお伝えしたんですけども、こちら、第二次総合振興計画の集計結果を待たず、令和7年度を待たず、令和6年度末、昨年度ではなく、おとしの末までの実績を踏まえて、第三次計画の策定に臨んだ、そういう認識でよ

ろしいのでしょうかというところと、こちら私のほうの理解としましては、それを待っていては、計画に1年以上空白が生じてしまうというところで、令和6年度末までの実績を踏まえて策定されたのかなという理解ではいるんですけども、一度確認をさせてください。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（高木剛彦君） 総務理事、高木です。

お答えします。

第三次総合振興計画の策定に当たっては、第二次計画の最終年度である令和7年度の実績確定を待つのではなく、令和6年度末までの実績や策定期間の把握できる令和7年度の進捗状況を踏まえながら検討を行い、その内容を計画策定に反映しております。

総合振興計画は町政運営の指針となるものであり、計画期間の連続性を確保する観点から策定期間で得られる最新の実績や課題等を活用しながら、第三次計画の策定を進めたものです。また、既存の目標指標の進捗率や達成状況だけでなく、町民アンケート、中高生意識調査、住民ワークショップなどを実施し、多様な住民ニーズや地域課題についても把握しながら策定を進めました。

なお、第二次計画の最終的な実績については、令和7年度終了後に取りまとめを行い、本年7月開催の総合振興計画審議会において、報告及び審議をいただいております。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 寺坂大地君。

○3番（寺坂大地君） ありがとうございます。今ほどご説明いただいた内容、また引き続きちょっと見させていただきたいのですが、こちら3つ目の質問なんですけれども、第三次計画には、第二次計画にあった目標指数というものが分厚い計画書のほうに盛り込まれておりませんでした。前回はいろんな指標というものが項目ごとに数字が盛り込まれていたと思うんですけれども、今回、第三次計画において、基本計画に目標指数がなく、計画本文にあるのは総合戦略というところの項目の数値目標16本だけになっていたと思います。これはなぜなのかということをお聞かせいただければと思います。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（高木剛彦君） 総務理事、高木です。

お答えいたします。

第三次総合振興計画においては、第二次計画のように、基本計画ごとの目標指標を計画書本文には掲載しておりません。一方で、地方版総合戦略については、国から数値目標の設定が求められていることから、総合戦略に関する16の数値目標を計画に掲載しております。

総合振興計画全体の進捗を把握するための目標指標については、行政運営、福祉、教育、産業、環境など、多岐の分野にわたることや社会情勢や制度改正等の影響を受け、適宜見直しが必要となるものもあることから、計画書に掲載する目標指標の選定や整理が難しい面があります。

そのため、今回の計画では、目標指標を計画本文に網羅的に掲載するのではなく、施策の方向性や取組内容を中心に整理する構成といたしました。進捗管理に必要な指摘やデータについては、各分野で把握しているものを活用しながら、計画の推進を図ってまいります。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 寺坂大地君。

○3番（寺坂大地君） 続いて、4つ目のほうの第三次計画の進捗管理といたしまして、目標指標、目標指数の設定であるとか、あるいは管理のやり方の検討というのは、検討委員会のほうで、そちらのほうでどこまで、どの程度進んでいるのかお聞かせください。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（高木剛彦君） 総務理事、高木です。

お答えいたします。

第三次総合振興計画の進捗管理については、来年度の総合振興計画審議会から毎年度実施する予定としております。また先日の総合振興計画審議会においても、これまでのような目標指標の進捗率や達成状況を中心とした評価手法ではなく、施策の成果や課題をより分かりやすく検証できる手法について検討する必要があるとのご意見をいただいております。

こうした意見を踏まえながら、今後、進捗管理に用いる目標指標や評価方法について整理し、実効性のある進捗管理の仕組みを協議してまいります。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 寺坂大地君。

○3番（寺坂大地君） ありがとうございます。それでは、最後に、今のお話ちょっと整理をさせていただきつつ、提言を一つだけさせていただきたいと思います。

今ほど、1つ目のご質問の答弁の中で、計画そのものは補助金、県とか国で頂けるような補助金や助成金の要件とは別になっているわけではないということと、指標、こちらの本文にはないけれども、別途把握し、管理をされるということと、そして進捗管理に関しましては、来年度の審議会から毎年行うもので、最後に審議会からは進捗率であるとか、達成状況の数字を並べるだけでなく、施策の成果を分かりやすく検証できるやり方というご意見が出ているということで理解をいたしました。

そこで、まさに、例えば私が今、1点いいなと思っているところが、前回、第二次総合振興計画を管理していた指標が141個あったものが16個に絞り込まれたということ、これ結構いいことかなと僕は思っています。141個を町民の皆様バンと見せて、これだけのことが町の目標として掲げていますよ、これだけのデータを管理していますと示ししても、なかなか把握し切れないと思います。これが16本に絞り込まれたということは、非常に私も評価していて、住民の方にとっても、この16本、今から越前町、今後5年間、10年間、重点的に取り組んでいくんだと、人口増やそうとか、子育ての支援を充実させようとか、そういったところ、分かりやすい指標になっていくというのは、非常にいいことかなと思います。

その上で、これからご提案一つ申し上げるんですけども、審議会で取決めされていることに私がいや、それはおかしいでしょうと言うわけではないです。別に反対したいわけではなくて、提案ですので、ぜひご一考いただければ幸いなんですけれども、この目標指標というものが16、総合振興の総合分野のところ16本に絞られたということだったんですけども、これもまだやっぱり国から言われたからつくりましたというニュアンスにどうしても聞こえてしまいます、私は。

なので、本町としまして、ぜひこの越前町、これを盛り上げていきたいんだ、これを改善していきたいんだという、重要な目標を10本以下、もう1本でもいい

です。1本に絞ったものでもいいので、ぜひお示ししていただいたほうが、結局のところ住民の方には、なるほど、これを越前町は力を入れたんだなということが非常に示されて分かりやすいんじゃないかなと私は考えます。

実務として、いろんな例えば、先ほどの水道の更新率であるとか、原子力の核燃料税が拡充されたことによって、こういったことに使われますよというデータの蓄積というものは非常に重要かと思うんですけれども、やはりこれが越前町の重要項目なんだというものを分かりやすく住民の方にお示ししていただきたいというのが提案でございます。

もうちょっと平易化しますと、この施策によって、補助金によって、何でもいいです。何でもいいんですけれども、町民の暮らしの何がどう変わったのか、この問いこそが多分住民の方にとっては重要な意識なのかなと思っております。ですので、変わったのか、変わらなかったのか、これが後から確かめられるということが非常に我々としても重要で、我々がチェックすべき項目だと私は考えておりますので、これをぜひ出していききたいなと思いますし、この2つを満たす数字であれば、もう10本もあれば十分どころか、1本でも2本でもいいんです。町の向かう先というものが十分に私どもにも伝わってまいりますので、ぜひぜひそういったところをお示ししていただけたらなと思います。

こちら、念のため申し添えるんですけれども、指標が目標に届かないことが駄目なんではないです。目標を掲げることが重要なのであって、担当課の責任があるとか、そういうことを問い詰めたわけでもないですし、届かなかった、目標に達成できなかった。うまくいかなかったということであれば、それはそれでいいので、なぜうまくいかなかったのか、どうやったらうまくいくのか、改善できるのかという失敗を改善につなげるようなやり方を試んでいただきたいなと思います。もしご答弁あればお願いいたします。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（高木剛彦君） 総務理事、高木です。

お答えいたします。

総合振興計画を推進するに当たり、実務を管理する上では、細かな目標、指標は重要であると同時に、議員ご提案のとおり、町民の皆様に対して町が何を重点的に進め、その結果としてどのような成果が表れているのかを分かりやすくお示しすることも重要であると考えております。一方で、総合振興計画は、幅広い行政分野を対象としていることから、特定の分野に偏ることなく、全体のバランスにも配慮する必要があります。現在、第三次総合振興計画の進捗管理の指標については、今年度の審議会でも見直しをご意見がありましたので、今後、検討を進めていくところであり、指標の数や選定方法を含め、より分かりやすく実効性のある進捗管理の仕組みについて検討してまいります。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 寺坂大地君。

○3番（寺坂大地君） ありがとうございます。ぜひ審議会のほうにご提言いただけたら大変ありがたいなと思います。こちら、今ほどやっぱり総合振興計画そのものは広く設定することは、もう私としても何か申し上げることはないんですけれども、改めて、繰り返しになりますが、少ない、本当に1本でも2本でも3本でもいいので、本町はこれを目指していきますよということをぜひ出していただけると大変ありがたいかなと思います。

ちょっと1点だけ申し上げて、この質問を閉じさせていただきます。

第二次計画で141本の指標をちょっといろいろエクセルデータで頂いたものを1個、1個拝見させていただきましたところ、5年間を通じておおむねですけれども、3割程度の達成率だったみたいです、どうやら見てみますと。ひとつ様々な分野に広く全部やりますよというのは、これは経営とかでも同じことが言われることですが、様々な分野で何でもやります。とにかくいろんなことを前に進めますという宣言というのは、あらゆることを何もしませんがということとほぼイコールになってしまうことが往々にしてあります。これは多分、大企業であってもそうですし、ほかの大きな自治体であっても同じで、これに注力をするんだというふうに絞ってしまったほうがうまくいく場合もあるというところだけ、ちょっとお示しをしておきます。

これが別にいい悪いという判断はあくまで皆様、執行部側の判断ですので、私がどうこう言うことではないんですけれども、一度やっぱり検討だけはさせていただきたいかなと思います。なので、総合振興計画が広く網羅されていること自体が悪いというよりも、目標で進捗管理を、今年はこれを進捗管理しますというものに関しては、偏ってもいいんじゃないかなという提言です。そこが偏っていたとしても本計画が偏っていなければ、それは別に問題がないのかなと思いますので、ぜひぜひ検討を、繰り返しますが、検討をしていただけたらと思います。その検討の行方、それが結果どうだったかというところは、また本件、私のほうも責任を持ってチェックをさせていただきますし、また機会があれば、またこうやって一般質問の壇上に上げさせていただくこともあるかもしれませんが、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

以上で、この総合振興計画の進捗管理に関する質問を終わらせていただきます。

続きまして、今年7月に開設されました本町公式Instagramについてお伺いをしたいと思います。

こちら、ちょっと数字の部分も少し確認をさせていただきつつ、ご質問をさせていただきたいと思います。これ先ほどの総合振興計画の話と実はほぼ同じことを聞くんですけれども、このSNS、Instagramをどんどん盛り上げていこう、これ非常にすばらしいことだと思います。これに関して、SNSが盛り上がることによって、住民の何がどう変わっていくのかという、ここが非常に重要なのかなと思いますので、この1点を幾つかに分けてご質問させていただきたいと思います。

まず、1つ目、この公式Instagramアカウントの目的は何なのかというところをお尋ねいたしたいと思います。

例えば本町、観光連盟、観光DMOのアカウントが7,000フォロワーオーバーのものがあったりとか、定住促進のことであれば、ココクルーさんとかがInstagram開設しておられますし、ほかにも、例えば、本町、別に行政の皆様が主導してるわけではないと思いますけれども、数万フォロワーとかというフォロワー数を誇る、いわゆるインフルエンサーという、非常に発信力の高いユーザーさんというのが、本町の居住しておられる方で何人かおられます。それとはまた分けて、本町がInstagramアカウントを町公式でボンと打ち立てたという、この取組によって、じゃ、何が変わるのか。越前町、そして住民の皆様の何がどのように変わってくるのかというところを何を狙っているのかというところをぜひお聞かせいただけたらなと思っております。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（高木剛彦君） 総務理事、高木です。

お答えいたします。

町公式Instagramは、本年7月17日に開設いたしました。本アカウントは、写真や動画を通して、町のイベントや暮らしの情報、自然、文化、産業などを発信し、町民を含め越前町に関わる人々や町外の方に本町への興味や共感を持っていただき、越前町を知っていただく入り口とすることを目的としています。これまで町では、広報紙やホームページ、公式LINE、防災行政無線などを活用して情報を発信してまいりました。これらに加え、Instagramでは、写真や動画を活用し、町の日常や地域の雰囲気、そこで暮らす人々や活動の様子などを親しみやすく伝えてまいります。この取組により、これまで町の情報に触れる機会が少なかった方にも越前町を知っていただき、町民の皆様には町への関心や愛着を一層深めていただくとともに、町外の方には越前町に興味を持っていただくことを目指しております。

また、投稿をきっかけとして町に関する他の媒体としての連携を図っていきたいと考えております。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 寺坂大地君。

○3番（寺坂大地君） ありがとうございます。今ちょっと私も漏れていましたが、確かに本町は広報紙であるとか、ホームページ、公式LINE等もありますので、ぜひ連携は深めていただきたいと思います。

あとごめんなさい、1点ちょっと今回の質問に関連するのに関連しないのかなんですけれども、こちら皆様、配布をさせていただいているものがございます。こちら私の一般質問に関わる紙なんですけれども、これこの議席であるとか、理事者の皆様だけではなく、傍聴席の皆様にもお配りしているものでございます。これをちょっと配布するに当たりまして、いろいろとちょっと法令の確認ですとか、制度の確認ですとかご協力いただきました。事務局の皆様ですとか、これを承認していただきました議長以下、ほかの議員の皆様にもお礼を申し上げます。ありがとうございます。

今回、このInstagramに関わることのみちょっと抽出して何が聞きたいのかというところをちょっとまとめさせていただいています。ぜひご覧いただきながらお聞きいただければ、大変ありがたいところでございます。

今、答弁いただいた内容に関しまして、2つ目、ちょっと入るんですけれども、フォロワー数、例えば、うまくいきましたInstagramの活用、運用が非常に成功しましたというところの基準に至るまでの、何でしょうね、中間的な指標、途中経過といいますか、そういったところがどうなっているのかというところをお聞きしたいんですけれども、開設から間もないという言い方をするとどうなのか分からないんですけれども、7月に開設されてから今9月3日、今日の朝見たところ505名までフォロワー数増えておりました。なかなかいいペースかなと思っているんですけれども、こちら今後に向けてどのような目安を持っておられるのかというところを聞きたいんですが、こちらの見るべき数字のはしごというところを書いてございます。フォロワー数というのは、あくまでどのぐらいの人に届いているのかという指標なんですけれども、こちらがまずどのぐらいの方に届いてほしいと思っているのか、数字的な目標をこちらをお聞かせいただけたらと思います。よろしくお願いします。

○議長（藤野菊信君） 総務理事。

○総務理事（高木剛彦君） 総務理事、高木です。

お答えいたします。

町公式Instagramについては、町の計画や予算事業における正式なK P Iではありませんが、アカウント運用上の当面の目安として開設後おおむね半年程度でフォロワー1, 0 0 0人を目標としております。

この目標は、開設後の進捗を確認し、職員が共通の目安を持って企画や投稿内容の改善に取り組むために設定したものでございます。また、現在のInstagramの利用条件等を踏まえ、一定のフォロワー数を確保し、将来的にはライブ配信も活用して町のイベントや地域の様子などをより臨場感を持って発信することも見据えております。

本アカウントは、本年7月17日に開設し、9月3日時点のフォロワー数は、議員ご指摘のとおり505人でございます。今後もフォロワー数に加え、投稿ごとの閲覧数や反応などを確認しながら、町民をはじめとする利用者の関心に沿った内容や越前町らしさが伝わる企画の充実に取り組んでまいります。開設から間もなく投稿件数や蓄積データも少ないことから、現時点では、目的の達成度を直接図る特定の成果指標は設定していませんが、当面はフォロワー数や閲覧数などの基礎的なデータを確認しながら運用し、今後の運用状況を踏まえ、必要に応じて評価方法を検討してまいります。

以上です。

○議長（藤野菊信君） 寺坂大地君。

○3番（寺坂大地君） ありがとうございます。3つ目、実は質問をご用意していたんですが、ちょっと取り下げさせていただきたいと思います。ごめんなさい。

こちらの配布したもので言うと、③として、やめ方のところを記載させていただいたんですが、これちょっと聞いてしまうと、もうやめる前提みたいな質問になってしまうかなと思って、ちょっと上からではないですけども、あまりにもちょっとせっかく始めた新しい施策ですのに、これを聞いてしまうのも少し盛り下げてしまう、水をかけてしまうかなと思いましたので、ちょっと違う聞き方をさせていただきます。ちょっと急なので、答弁は結構です。

提言という形にはなるんですけども、こちら今ほど答弁いただいた中に、今回の目的、町のイベント、暮らしの情報、自然、文化、産業などを発信していくということで、幅広くいろんなことを発信していくというような答弁でした。これも先ほどの総合振興計画と全く同じなんですけれども、ぜひこれを発信したいんだというものに絞り込んでもいいんじゃないかなと私は思いました。それこそ先ほど総合振興計画の中から本町が今年、令和8年度に、あるいは来年度、9年度にココにものすごくしっかりと注力していきますよというものを指標を1個決めて、それをドンドコドンドコ町主体となって発信をしていくというやり方でもすごくいいのかなと私は思いました。ただ、これ提案なので、どうするかはあくまでやっぱり理事者の皆様にお決めいただくしかないんですけども、やっぱり何かいろいろなことを発信しますというのは、ちょっとばらけてしまうというリスクもどうしてもあるのかなと私も思っておりまして、やっぱり1つに絞る、2つに絞る、3つに絞るというような、絞り込むというのが非常に重要な視点でもあるのかなということを一つ提言をさせていただきます。

また1点、今回やめる話を本当はしたくなかったのですが、したくなかったといったらあれなんですけれども、何を言いたかったかということ、例えば、ぜひうまくいってほしいんですけども、もしこのInstagramがうまく何かフォロワー数が増えないとか、多分これ1, 0 0 0人って全然達成できると思います。ただ、

これが1,000人達成した結果、ふるさと納税が増えましたよとか、本町への観光客の方が増えましたよとか、移住定住の申込みが増えました。実際に移住定住される方が増えましたとか、越前町ってこんな子育てしやすい町なんだ、じゃ、ちょっと子どもも二人、三人と産んでも大丈夫そうかなというふうに人口が増えました。何か町民の方の行動の変化、利益につながるようなものがあつたのであればいいんですけども、じゃ、こんな言い方はしたくないですが、何もなかった、ただ発信をして終わってしまったということが起こり得ると思います。起こり得てしまった際に、一番損をする方は誰かということやっぱり住民の方で、このインスタグラムの運用に当たりましては、多分撮影から編集、発信、そして次どんな発信をしていくかという計画まで何人かの行政職員の方の工賃といいますか、手間がかかっているはずです。もしかしたらその時間、町長ご自身も含めて、そのお時間というものを先ほどの水道の話であるとか、道路の話、あるいはほかの施策、こんな補助金を使ったらいいんじゃないか、こんな施策をしていったらいいんじゃないかという議論、計画に充てられたかもしれないのに、このインスタグラムをやり続けるというのは、もしかしたら物すごく損失かもしれないということだけ、ぜひぜひ頭に置いていただきたいと思います。

ただ、再三申し上げますが、このインスタグラムの運用に当たりましては、私としても非常に賛成です。発信をしていただきつつ、ぜひぜひ本町が盛り上がっていただくようにしていただきたいと思います。また、先ほど正式なKPIではないというところでフォロワー1,000人を目指しておられるということでしたが、あくまでこれは想像というか、妄想の域になるかもしれないですけども、シミュレーションとして、もしフォロワー数が1万人になったらどうだろうか、5万人になったらどうなるだろうかということをシミュレーションすることは可能だと思うんです。その際に、例えば、本町ホームページに陶芸にひもづけられるバナーがついているのかとか、就職情報みたいなのがまとめられているのかとか、そういったところも含めて、動線も含めて、今後ぜひぜひ検討していただきたいですし、そういったもしもの話というのは、どんどんすべきかなと思いますので、今後もまた注目はしていきますけれども、ちょうど1月ぐらいですか、半年後という、1月ぐらいにフォロワー1,000人達成していると思いますけれども、ぜひ今後も注視をさせていただきたいと思います。注目をさせていただきたいと思います。

繰り返しにはなりますが、町民の皆様の何がどう変わるのかという視点は非常に重要かと思うので、そちらのほう、ぜひご念頭にいただきたいというところで私の一般質問を終わらせていただきたいと思います。ありがとうございました。

(午後0時11分 終了)